2021

一般社団法人 山口県作業療法士会

認知症に関する活動計画（概要）

山口県作業療法士会では，今年度は、①「認知症の人の生活行為への支援」をテーマとした研修、②認知症アップデート研修の2つの研修を企画しています。①では、認知症の人へのMTDLPの活用も含めて、当事者がやりたいと思う作業に焦点をあてた実践や、アセスメントに関する内容にて準備をしています。②については、これまでのカリキュラムに含まれていた基礎的な知識・技術についての内容に加えて、トピックスや事例等も含めて、より多くの参加が得られるよう企画をしています。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

①周南市立図書館でのイベント：周南市地域包括支援センター・周南市立図書館によるアルツハイマーデータに合わせたイベントが予定されています。これまでも、市民を対象とした「認知症にやさしい図書館」イベントで、講義・書籍の紹介・体操・相談コーナーなどを設け、企画運営に協力をしています。
②ライトアップ事業:今年度、認知症の人と家族の会山口県支部の事業として行うライトアップ事業で、海峡ゆめタワー(下関市)、金谷神社(萩市)の2か所に、参加協力予定です。

昨年度の海峡ゆめタワーでのライトアップの様子。山口県士会員が運営に参加しました。

認知症の人と家族の会との連携事業

今年度は、認知症の人と家族の会山口県支部の引き受けにて、10月31日(日)に山口県山口市のKDDI維新ホールにて「認知症の人と家族への援助をすすめる 第37回全国研究集会in山口」が開催されます。山口県士会からも企画運営に参加協力をしています。また、同日に開催予定の山口県主催の認知症カフェサミットにも、同様に実行委員として参加し、準備に協力をしています。

県士会員や県内養成校も、企画運営に協力しています。

COVID-19（新型コロナウィルス）の影響・対応など

今年度に入り、会員の所属する勤務先でも感染やクラスター発生が起こったり、通所・訪問といった事業所でもかなり活動の制限があるとの報告を受けています。委員会独自にとっている対策はありませんが、認知症の人や介護家族の健康と安全を守るための情報について、発信できたらと考えています。

会員に向けた情報発信の取り組み

今年度、認知症初期集中支援委員会では、認知症施策推進事業をはじめとする地域活動を知ってもらうため、山口県作業療法士会の会報「それっちゃ山口」へのコラム掲載をはじめました。委員会からの発信だけでなく、認知症にかかわる会員からの相談受付等、双方向のやり取りができる体制に向けて、準備していけたらと思っています。